

第3章

計画の基本的な考え方

1 基本理念

助け合い見守りで 安心して住み続けられるまち つべつ
— 誰もが楽しく健やかに—

地域の人が手を取り合い、楽しく笑いながら住み慣れた地域で安心して住み続けられる町を目指します。

2 基本的な目標

(1) 豊かな人と心づくり

津別町総合計画では、今以上に「津別で暮らしたい」「津別は魅力にあふれている」と実感できるまちづくりを目指します、と記載されています。

少子高齢化が進んでいますが、「地域の力」を高めるためには、町民みんなが、常に生きることの喜びと感謝の気持ちに満ち、明るく、前向きにたくましく生きようという豊かな心を持つことです。

「豊かな心」は、自分を大事にすると同時に他人を思いやる心でもあります。ルールやマナーを守り、社会に貢献する力にもなります。

互いに地域社会において活動し、助け合い、楽しく笑いながら暮らしていく、心づくり、人づくりを進めていきます。

(2) 支え合いの仕組みづくり

昭和 40 年代頃には、隣近所の方が子どもを預かり、面倒をみたり、お互いを支え合う「地域」がありました。それがいつのころか、隣とは挨拶だけの関係になってきている現状があります。子どもから高齢者まで地域で暮らしていくためには、隣近所で支え合う仕組みを再構築することが必要になってきています。

(3) 安心の暮らしづくり

町民アンケートや自治会座談会では、住み慣れた地域で暮らしていきたいという方が多く、そのための仕組みづくりが必要になります。医療の確保、高齢者・障がい者の地域生活支援など、地域の医療・福祉の体制づくりの取り組みを強化するとともに、安心して子どもを生み、育て、暮らしていくことができる環境づくりを進めます。

3 取り組みの体系

<基本理念>

<基本目標>

<施策の展開>

